

(1)平成25年度新規事業 ※評価選択肢「1拡大実施」「2現状通り継続」「3執行方法の見直し」「4縮小」「5他事業と統合」「6休・廃止」

NO.	部局	課名	事業名 (事業別シート)	事業概要	H25 決算額 (千円)	部局による自己評価(一次評価) と判断理由等	事務局会議による二次評価 (最終評価) 【指示事項・意見】
1	総務部	防災安全対策課	災害対策本部情報システム等整備経費	<ul style="list-style-type: none"> ・消防本部の災害監視システムや県の河川砂防情報システム等の外部システムからの自動的な情報収集 ・災害内容の分析と災害対応判断の支援 ・防災ネットあきたやエリアメール等の市民向け広報のさらなる高速化 ・避難所運営支援や被害証明事務等、被災した市民への対応を一元化する被災者管理 ・津波警報サイレンの吹鳴や防災行政無線との連動 ・全国瞬時警報システム(J-ALERT)との連携等の機能をパッケージソフト等を組み合わせた上で、一つのシステムとして災害関連情報システムを整備すると同時に、災害対策本部室設備を新庁舎内の災害対策本部室へ整備する。 	23,760	2 現状通り継続 新庁舎建設と同時に整備することで、最大限の費用対効果が得られる事業であり、次年度以降も新庁舎建設の日程進捗に合わせて現状の計画どおり実施するべきものであるため。	2 現状通り継続 【計画に沿って進めること】
2	企画財政部	企画調整課	公立大学法人運営交付金	公立大学法人秋田公立美術大学へ運営費交付金を交付する。	796,000	2 現状通り継続 地方独立行政法人法の規定により、設置者である秋田市が地方独立行政法人に対し、その業務の財源に充てるために必要な金額を交付していることから、現状通り継続実施したい。	2 現状通り継続 【定員を満たす28年度以降は、事業内容の精査が必要】
3	企画財政部	企画調整課	公立大学法人支援経費	地方独立行政法人法に基づき、市が設置する評価委員会を運営するとともに、秋田公立美術大学の開学を祝う開学記念式典および祝賀会を開催する。	3,003	2 現状通り継続 評価委員会運営等、法律に基づいた管理的経費であることから、現状通り継続実施したい。	2 現状通り継続 【市が設置する評価委員会の運営経費等であり継続が必要】
4	企画財政部	企画調整課	秋田公立美術大学社会貢献センター活用経費	美大社会貢献センターと本市が協議の上、まちづくりにつながる社会貢献事業を実施する。市からセンターへ負担金を支出し、市事業における美術・デザイン意匠、アートスクール等の開講、地域ブランドの開発などを実施する。	962	2 現状通り継続 客員教授講演会や秋田市ブランド商品開発等で実績が出ていることから、当面は現状通り継続したい。	2 現状通り継続 【様々な分野で美大との連携を進めること】
5	企画財政部	企画調整課	県市連携文化施設整備検討経費	県と連携して、文化会館と県民会館の再編整備の検討を進める。	1,910	2 現状通り継続 公共施設の効率的な維持管理等が大きな行政課題となってくる中で、今後の一つのモデルにもなり得る意義のある取組として、引き続き、県と連携しながら事業を進める。	2 現状通り継続 【県市連携による取組であり、検討を進めること】

(1)平成25年度新規事業 ※評価選択肢「1拡大実施」「2現状通り継続」「3執行方法の見直し」「4縮小」「5他事業と統合」「6休・廃止」

NO.	部局	課名	事業名 (事業別シート)	事業概要	H25 決算額 (千円)	部局による自己評価(一次評価) と判断理由等	事務局会議による二次評価 (最終評価) 【指示事項・意見】
6	企画財政部	企画調整課	土崎まちづくり基本構想策定経費	地元要望を踏まえ、地域交流の拠点となる(仮)土崎歴史資料館を整備し、土崎の歴史を活かしたまちづくりを進め、地域活性化を図る。	1,961	2 現状通り継続 市民協働の延長線上の取組として、地域資源を活かした住民主体のまちづくりを進めることにより、自らがまちづくりに関わり、自分の住むまちに誇りを持てる成熟した地域社会の形成を目指す。	2 現状通り継続 【市民協働による地域振興につなげるべく、継続した取組が必要】
7	企画財政部	企画調整課	新屋まちづくり基本構想策定経費	地元要望を踏まえ、新屋表町地区を地域交流エリアと想定して、地域交流の拠点施設を整備し、新屋の地域資源を活かしたまちづくりを進め、地域活性化を図る。	1,976	2 現状通り継続 市民協働の延長線上の取組として、地域資源を活かした住民主体のまちづくりを進めることにより、自らがまちづくりに関わり、自分の住むまちに誇りを持てる成熟した地域社会の形成を目指す。	2 現状通り継続 【市民協働による地域振興につなげるべく、継続した取組が必要】
8	市民生活部	生活総務課	斎場火葬炉維持改修経費	火葬炉設備の保守管理の結果を精査し、効果的に改修・修繕を行う。	9,597	2 現状通り継続 通年業務である火葬業務に支障を来さないため、火葬炉設備の維持・修繕を継続して実施する必要がある。	2 現状通り継続 【業務に支障を生じないようにすること】
9	市民生活部	市民交流プラザ	秋田拠点センターアルヴェ共用部特別修繕費負担金	アルヴェ管理組合が行う特別修繕(中長期修繕)に対し、管理組合規約に基づき修繕費を負担する。	3,152	2 現状通り継続 今後、拠点センターアルヴェの修繕箇所が増大が見込まれるため、特別修繕事業実施期間が長期にわたる。	2 現状通り継続 【管理組合規約に基づく負担金であり、継続する必要がある】
10	市民生活部	市民交流プラザ	秋田駅東口駅前広場施設改修経費	融雪設備運行前点検において、絶縁抵抗値が0.4MΩ以下になったヒータユニットのうち、主要動線にあるものを改修する。	7,343	2 現状通り継続 稼働前点検で絶縁抵抗値が0.4MΩ未満となったヒータユニットを継続して改修する。	2 現状通り継続 【冬期間における安全確保のため、計画的に修繕すること】
11	福祉保健部	障がい福祉課	障がい児療育支援事業	障がい児家庭の経済的負担を軽減するため、障がい児通所支援事業の利用の際の利用者負担金に対し助成する。	57	2 現状通り継続 26年度から措置費	2 現状通り継続
12	福祉保健部	障がい福祉課	障がい者雪下ろし支援事業	市内に居住している障がい者のみの世帯(市民税非課税世帯に限る。生活保護法等による被保護世帯は対象外)に対し、生活の本拠である住居(借家は除く)の雪下ろし等に要する費用の一部を助成し、積雪による現住家屋の倒壊を防ぐ。	0	3 執行方法の見直し 平成25年度は、道路豪雪対策本部が未設置であったことから、本事業の実質的な効果測定は困難であった。本事業の実施期間は、道路豪雪対策本部が設置された日から当該年度の末日までとしているが、当該本部が設置されていない場合においても、市民からの要請等があったときは、市職員が現地を確認し、必要に応じて支援ができるよう、運用方針・規定を改めることとしている。	3 執行方法の見直し 【道路豪雪対策本部が設置されていない場合でも、必要に応じて支援ができるように、柔軟な運用へ見直すこと】

(1)平成25年度新規事業 ※評価選択肢「1拡大実施」「2現状通り継続」「3執行方法の見直し」「4縮小」「5他事業と統合」「6休・廃止」

NO.	部局	課名	事業名 (事業別シート)	事業概要	H25 決算額 (千円)	部局による自己評価(一次評価) と判断理由等	事務局会議による二次評価 (最終評価) 【指示事項・意見】
13	福祉 保健部	長寿福 祉課	高齢者雪下ろし支援 事業	市内に居住している、65歳以上の高齢者のみ世帯（市民税非課税世帯。生活保護法等による被保護世帯は対象外）に対し、生活の本拠である住居（借家は除く）の雪下ろし等に要する費用の一部を助成し、積雪による現住家屋の倒壊等を防ぐ。	0	3 執行方法の見直し 平成25年度は、道路豪雪対策本部が未設置であったことから、本事業の実質的な効果測定は困難であった。本事業の実施期間は、道路豪雪対策本部が設置された日から当該年度の末日までとしているが、当該本部が設置されていない場合においても、市民からの要請等があったときは、市職員が現地を確認し、必要に応じて支援ができるよう、運用方針・規定を改めることとしている。	3 執行方法の見直し 【道路豪雪対策本部が設置されていない場合でも、必要に応じて支援ができるように、柔軟な運用へ見直すこと】
14	保健所	保健予 防課	がん検診受診率向上 事業	(1)「コール・リコール事業」 胃がん検診無料クーポン券事業の対象者に対し、クーポン券等送付時にアンケートの文書を同封し、返信時に電話番号の記載があった者のうちから、一定期間を経過しても、胃がん検診を未受診である者に対し、電話による受診勧奨を行う。 (2)「受診勧奨通知」 (1)において電話番号の記載がない胃がん検診未受診者について、検診期間中の適切な時期に文書による受診勧奨を行う。	1,343	1 拡大実施 平成25年度は胃がん検診無料クーポン券の対象者について実施したところ、事業の効果が認められたため、26年度は大腸がん検診無料クーポン券の対象者についても実施する。なお、27年度以降については、他の検診や対象者について拡大を含め検討する。	1 拡大実施 【早期発見・治療につなげるため、受診率向上に努めること】
15	保健所	保健総 務課	救急医療等支援事業 費補助金	救急医療を担う公的病院等の不採算分野である救急医療および小児医療の運営に要する経費の一部を助成する。	100,892	2 現状通り継続 本市における医療機能の確保・維持のため、不採算分野を担う公的病院等に対する補助は継続する必要がある。	2 現状通り継続 【28年度以降については、要検討のこと】
16	保健所	健康管 理課	風しん予防接種費助 成事業	妊婦への風しん感染を抑制するための緊急対応として任意接種である風しん予防接種費用の一部又は全額を助成する。	5,440	3 執行方法の見直し 医師会への業務委託を検討し実施した。	3 執行方法の見直し
17	環境部	環境総 務課	溶融施設大規模改修 事業	おおむね10年ごとに必要な溶融施設の主要機械設備、電気設備の整備等を実施することにより、施設の長期使用(30年間)を図る。	529,898	2 現状通り継続 溶融施設の主要機械設備、電気設備等の大規模改修を着実に実施し、施設の長期使用を図る。	2 現状通り継続 【計画的な大規模改修が必要】
18	商工部	大森山 動物園	大森山公園利用促進 事業	・散策を促すために、駐車場及び各園路の出入口に「園路の特徴」「園路からの景観」「周辺の植栽」などのサインを設置する。 ・彫刻の森周辺の魅力を強化するため「ハーブ園の整備」「アヤメ園の再生」を行う。 ・自然環境を活用し、ホームページで花や景色の見頃をアピールする。	603	2 現状通り継続 公園の利用を促進する事業として、初年度と2年目は案内板等を設置しており、今後、市民参加による植栽や、市民へ向けた植物のPR、民間による公園利用活動を推進し、実施にあたっては、市民・民間活力を活用する。	2 現状通り継続 【利用者増加に向け様々な工夫をすること】

(1)平成25年度新規事業 ※評価選択肢「1拡大実施」「2現状通り継続」「3執行方法の見直し」「4縮小」「5他事業と統合」「6休・廃止」

NO.	部局	課名	事業名 (事業別シート)	事業概要	H25 決算額 (千円)	部局による自己評価(一次評価) と判断理由等	事務局会議による二次評価 (最終評価) 【指示事項・意見】
19	農林部	農業農村振興課	畜産生産拡大施設等整備支援事業	畜産の生産性向上に要する機械設備および飼料増産に要する機械等の整備に必要な経費に助成し販売拡大を図る。	1,440	2 現状通り継続 当該事業(県単)は、H23からH25年度まで実施されたが、引き続きH26、H27年度も継続実施されるため。	2 現状通り継続 【特財の有無でなく、事業の必要性で判断すること】
20	農林部	農業農村振興課	農業経営体育成支援事業	国事業である経営体育成支援事業を活用し、意欲ある経営体や集落営農が経営規模の拡大等へ取り組む際に必要になる農業用機械等の導入について支援する。	4,748	2 現状通り継続 事業の目的から見て成果が上がっており、また執行方法等も特に問題がないため、現状通り事業を継続することが妥当と考える。	2 現状通り継続 【集落の合意形成を図りながら、人・農地プランの作成を促進すること】
21	都市整備部	都市計画課	都市計画図更新経費	都市計画基図(縮尺1/2,500)の更新、都市計画総括図(用途入り 縮尺1/25,000(1葉)、1/10,000(4葉))の更新・印刷を行う。	4,104	2 現状通り継続 都市計画図は、都市計画制度の運用や開発指導などに使用する図書であり、都市計画業務を行う上で必要不可欠なものとなっている。その整備・更新は短期間で行うことが望ましいものの、多額の費用を要するため、データが陳腐化しない範囲で計画的に実施することとしている。なお、都市計画図は、市民や事業者販売しており、このたびの整備・更新により、原価を基礎とした新たな価格を設定して販売する予定である。	2 現状通り継続 【適正な価格設定に留意すること】
22	教育委員会	総務課	小学校大規模改造事業(広面小学校)	広面小学校の管理室棟の耐震補強と大規模改造および給食室のドライ化工事を行う。	180,342	2 現状通り継続 事業の目的から見て成果が上がっており、また執行方法等も特に問題がないため。	2 現状通り継続 【計画に沿って進めること】
23	教育委員会	中央図書館明德館	明德館施設整備等経費	快適な施設利用環境とするため、老朽化した施設設備の改修工事等を計画的に行い、施設の適切な維持管理に努める。	2,473	2 現状通り継続 事業の目的から見て成果が上がっており、また執行方法等も特に問題がないため。	2 現状通り継続 【計画的な修繕を進めること】
24	教育委員会	スポーツ振興課	体育施設耐震診断経費	昭和56年の建築基準法改正による「新耐震設計法」以前に建築した茨島体育館、河辺体育館、雄和体育館の耐震診断、補強設計を行う。	2,360	2 現状通り継続 事業の目的から見て成果が上がっており、また執行状況等も特に問題がないため、現状通り事業を継続することが妥当であると判断される。	2 現状通り継続 【計画に沿って進めること】

(1)平成25年度新規事業 ※評価選択肢「1拡大実施」「2現状通り継続」「3執行方法の見直し」「4縮小」「5他事業と統合」「6休・廃止」

NO.	部局	課名	事業名 (事業別シート)	事業概要	H25 決算額 (千円)	部局による自己評価(一次評価) と判断理由等	事務局会議による二次評価 (最終評価) 【指示事項・意見】
25	教育委員会	学事課	学籍・就学援助システム導入経費	紙媒体で管理している学齢簿について、住民基本台帳と連携した「学籍システム」を導入し、児童生徒の学校名、保護者名、家族構成等の情報をデータベース化することにより、教育委員会業務や学校校務全体のシステム化を見据えた基本ツールを構築する。 また、「学籍システム」と連動した「就学援助システム」を導入し、年々増加傾向にある就学援助対象者の審査認定作業等をシステム処理を行うことにより、審査業務の適正化と事務処理の効率化を図る。	5,294	2 現状通り継続 より良いシステムを導入するため、プロポーザル審査委員会を実施し、最も評価の高い業者と随意契約し、システムを導入した。 今後も継続してシステムを運用し、必要に応じてシステムの修正および運用の見直しを行う。	2 現状通り継続 【審査業務の適正化と事務処理の効率化に努めること】
26	教育委員会	総務課	雄和地域統合小学校整備事業)	雄和地域の川添、種平、戸米川および大正寺小学校を統合し、新校舎を雄和中学校に併設する。	0	2 現状通り継続 事業の目的から見て成果が上がっており、また執行方法等も特に問題がないため。	2 現状通り継続 【計画に沿って進めること】
27	消防本部	指令課	消防総合通信指令システム構築事業	消防救急無線デジタル化を核とする消防総合通信指令システム構築事業を推進するため、平成25年度にデジタル無線および指令システムの更新ならびに災害監視システムを改修するための実施設計を委託する。平成26年度から平成27年度の2か年でデジタル無線と併せて指令システムの更新整備および災害監視システムの改修工事を実施する。	31,207	2 現状通り継続 平成25年度の実実施設計に基づき、26年度から28年度の3か年で、デジタル無線と併せて指令システムの更新整備および災害監視システムの改修工事を実施する。	2 現状通り継続 【計画に沿って進めること】
28	消防本部	警防課	消防水利整備事業	消火栓の耐用年数は約30年であり、老朽化が進み、使用不能又は使用制限しているものが多く発生している。今後も増加が見込まれることから、消火活動に支障が生じないよう、早急に対象となる消火栓を修理する。	11,642	2 現状通り継続 不具合消火栓の増加が今後も見込まれることから、消火栓の更新事業と併せながら修理事業を進めていくことで消火栓の維持管理にかかる経費の削減にも今後効果が得られるものである。	2 現状通り継続 【迅速な消火活動のため、計画的に更新・修理すること】
29	消防本部	警防課	河辺消防署本署改築事業	勤務環境の整った庁舎に改築し、職員の勤務環境改善を図るとともに、常備及び非常備消防の訓練スペースとして放水訓練場を併設し、河辺地域の防災拠点として整備する。	4,287	2 現状通り継続 経費の縮減を図るとともに、各種工事において地域住民への影響がある場合は、施工業者、建築課と連絡を取り速やかに対応する。	2 現状通り継続 【計画に沿って進めること】